

1. 趣旨

交通事故の抑止、減少に有効な自動車安全技術を普及させるために必要な広報、啓発活動を行う。

2. メンバー

◆ 民間企業

アイシン精機(株)、中部日本自動車学校(株)、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、三菱自動車工業(株)

◆ 行政

愛知県産業振興課、愛知県警交通総務課

3. 活動内容

- 自動車安全技術の普及に資する広報・啓発活動の検討
- 構成メンバーが実施する広報・啓発活動についての情報交換
- 構成メンバーが実施する広報・啓発活動への協力、支援の検討

平成29年度普及啓発活動（①-1 講習会・体験試乗会等）

1 県地域安全課との連携による街頭啓発活動

日にち：5月13日（土）

場 所：イオンモール長久手（長久手市）

日にち：10月21日（土）

場 所：イオンモール名古屋茶屋（名古屋市港区）

2 県警との連携による高齢者講習会

	津島警察署	小牧警察署	名東警察署	常滑警察署	守山警察署
開催日	9月8日（金）	9月26日（火）	9月29日（金）	10月18日（水）	11月14日（火）
会場	下萱津コミュニティ 防災センター （あま市）	小牧市自動車学校 （小牧市）	東山自動車学校 （名古屋市名東区）	多屋公民館 （常滑市）	旭台集会所 （尾張旭市）
参加者数	23人	64人	11人	70人	18人

街頭啓発活動の様子



イオンモール長久手

高齢者講習会の様子



下萱津コミュニティ防災センター



多屋公民館

平成29年度普及啓発活動（①-2 講習会・体験試乗会等）

1 自動車学校の協力による体験試乗会の開催

① 岡崎自動車学校：「交通博in岡崎」（岡崎市）

日にち：9月24日（日） 協力企業：三菱自動車工業(株)

内容：低車速域衝突被害軽減ブレーキシステムの体験試乗

② 中部日本自動車学校「第11回 やごと感車祭」（名古屋市昭和区）

日にち：11月5日（日） 協力企業：名古屋ダイハツ(株)、アイシン精機(株)

内容：衝突回避支援システム“スマートアシストⅢ”体験試乗
インテリジェントパーキングアシスト体験試乗

【中部日本自動車学校体験試乗会】



衝突回避支援システム（名古屋ダイハツ(株)）

2 県庁本庁舎公開イベントによる体験試乗会の開催

日にち：11月3日（金・祝）

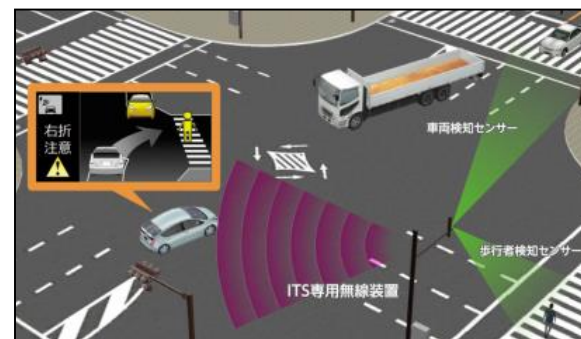
協力企業：トヨタ自動車(株)、アイシン精機(株)

内容：協調型安全運転支援システムの体験試乗

県庁～「城見通2」交差点約（2.5Km）を往復

駐車支援システムの体験試乗

【県本庁舎公開イベント】



協調型安全運転支援システム（トヨタ自動車(株)）

3 展示会等でのブース出展

① 刈谷産業まつり（刈谷市） 11月4日（土）～5日（日）

② メッセナゴヤ（名古屋市港区） 11月8日（水）～11日（土）

③ あいちITSワールド（名古屋モーターショー同時開催）（名古屋市港区） 11月23日（木・祝）～26日（日）

平成29年度普及啓発活動（②県民公開セミナー）

- 日 に ち：平成29年9月13日（水）
- 会 場：県産業労働センター（ウインクあいち）902会議室
- 参加者数：45人
- 内 容

- ・基調講演

「JARIが取り組む安全研究」

一般財団法人日本自動車研究所（JARI） 安全研究部 副部長 鷹取収 氏

- ・PTメンバーの取組

①「プローブ情報活用ワーキンググループの取組」

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教 松尾幸二郎 氏

②「事故分析ワーキンググループの取組」

名古屋大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻 教授 水野幸治 氏



平成29年度普及啓発活動 (③ 中小企業の販路開拓支援 (展示会出展))

①出展先「オートモティブワールド」

会期：平成30年1月17日（水）～19日（金）

場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

オートモティブワールドとは、自動車の電子化・電動化、IT化、軽量化、部品加工などをテーマとした6つの展示会で構成され、自動車業界における重要テーマの最新技術が一堂に集結するアジア最大級の自動車の先端技術展。



当日の様子

②愛知県ブース概要

・展示面積 48.6㎡

・出展者8者（公募期間：7月6日～7月28日）

・支援内容

県が小間料の一部及び基礎装飾代を負担

出展企業・団体名	所在地
愛知県立大学 (情報科学共同研究所)	長久手市
旭ゴム化工(株)	名古屋市
キュリアス精機(株)	豊川市
(株)タイガーサッシュ製作所	刈谷市
知の拠点あいち重点研究プロジェクト プロジェクトR チームR8 (代表:(株)東海理化)	大口町
三晴工業(有)	安城市
(株)山田ドビー	一宮市
ユーアイ精機(株)	尾張旭市

平成29年度普及啓発活動 (④成果物)

自動車安全技術の普及啓発パンフレット

人に対する啓発パンフレット

外面

自動車安全技術プロジェクトチームの取組
 研究開発は、国内外の企業、大学、行政が一体となって、自動車安全技術の高度化を図り、交通事故の減少に貢献しています。研究開発の取組は、

【企業】 アイシン精機 (株)、(株) アドヴィクス、オムロコオートモーティブエレクトロニクス (株)、
 中興自動車工業学校、(株) デンソー、トヨタ自動車 (株)、三菱自動車工業 (株)、
 【大学】 愛知学院大学、名古屋大学
 【行政】 中務省運輸局、農林水産省、愛知県、愛知県警察

「自動ブレーキ」を誤解している!!
 最近では、ドライバーの約2人に1人が「自動ブレーキ」を誤解している!!

正しく理解している人 55%
 誤解している人 45%

自動車の安全技術
 自動車安全技術プロジェクトチーム

愛知県 豊橋市 豊橋警察署 (自動車安全グループ)
 〒460-8501 名古屋市中区三の宮三丁目1番1号 TEL: 058-494-6376 (平成30年1月)
 URL: <http://www.pref.aichi.jp/sochi/sanryu/kyosaku/shiniko/0000080845.html>

中面

交通事故減少のために実用化されている 自動車の安全技術はどれ?

① 衝突被害軽減ブレーキ (自動ブレーキ) ② ペダル踏み間違い時加速抑制装置
 ③ 車線逸脱警報 ④ 自動ハイビーム (先進ライト)

もっと詳しく教えて!

① 衝突被害軽減ブレーキ (自動ブレーキ)
 自動ブレーキは、ドライバーの操作に介入することはありません。ドライバーの操作に介入することはありません。ドライバーの操作に介入することはありません。

② ペダル踏み間違い時 加速抑制装置
 アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を軽減する装置です。この装置は、自動車が直進方向に進んでいる状態でアクセルを踏み込んだ際に、必ず警報がドライバーに対して発せられ、同時に車速を抑制します。自動車が直進方向に進んでいる状態でアクセルを踏み込んだ際に、必ず警報がドライバーに対して発せられ、同時に車速を抑制します。

③ 車線逸脱警報
 運転中に車線をはみ出してセリとしたりと運転は危険です。この装置は、自動車が直進方向に進んでいる状態でアクセルを踏み込んだ際に、必ず警報がドライバーに対して発せられ、同時に車速を抑制します。

④ 自動ハイビーム (先進ライト)
 ハイビームの点滅を知らせる「先行直進灯」、ロービームが点滅しないまま点灯すること、みなさんご存知ですか。この装置は、自動車が直進方向に進んでいる状態でアクセルを踏み込んだ際に、必ず警報がドライバーに対して発せられ、同時に車速を抑制します。

正解は、すべて実用化されています!
 ただし、自動車安全技術は、メーカーによって異なります。

最新の交通事故対策の一環として、これらの機能を搭載した自動車安全システム「サポカー(サポートカー)2プラス」と併せて、道路環境で運転時に活用されています。

自動車安全技術を正しく理解して 安全運転を心がけよう!

自動車安全技術プロジェクトチーム 自転車事故 分析レポート

愛知県が設置した、自動車安全技術プロジェクトチームでは、愛知県タクシー協会・名古屋タクシー協会の協力の下、ドライブレコーダーの映像を分析しています。(平成29年〜)

分析の結果、

① ドライブレコーダーに自転車は突っ込んでから衝突まで1秒以下の飛び出し事故
 ② 衝突被害軽減ブレーキのセンサーの外を走行する自転車事故

これらの事故は、**【車側の対応では事故回避が困難】**であることが明らかになりました。

— これらの事故に対して自転車側の対策は二つ! —

絶対に飛び出さない!!
ヘルメットを着用する!!

自転車事故を防ぐためには、自転車側の交通法規を守るという高い意識が求められます。

自動車安全技術プロジェクトチーム
 愛知県 豊橋市 豊橋警察署 (自動車安全グループ)
 〒460-8501 名古屋市中区三の宮三丁目1番1号 TEL: 058-494-6376 (平成30年1月)
 URL: <http://www.pref.aichi.jp/sochi/sanryu/kyosaku/shiniko/0000080845.html>

平成30年度普及啓発活動スケジュール

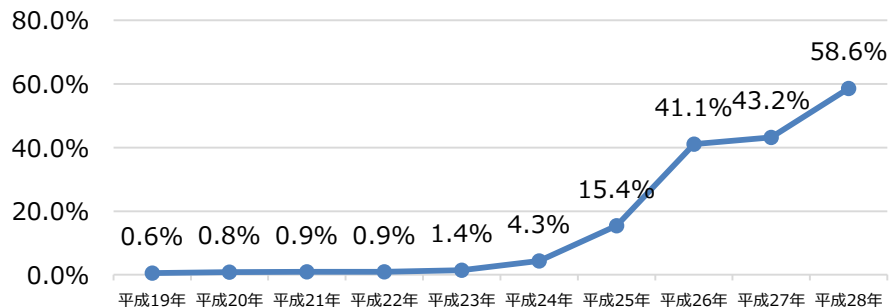
メニュー	時期	具体的な内容	連携・協力先（予定）
体験試乗会	9月・11月	交通博in岡崎 やごと感車祭	アイシン精機(株) 中部日本自動車学校 トヨタ自動車(株) 三菱自動車工業(株) 他
	11月3日	県庁本庁舎公開 イベント	トヨタ自動車(株) 他
高齢者講習会	6回/年程度	交通安全教室	愛知県警
展示会出展	11月7日～10日	メッセナゴヤ	PTメンバー
展示会出展支援	平成31年 1月16日～18日	オートモーティブ ワールド	県内自動車関連企業等

【参考】自動車安全技術の搭載車両について

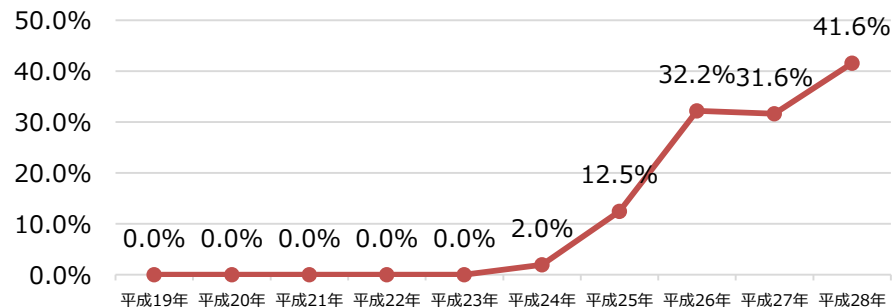
総生産台数に占める各自動車安全技術の搭載車両の推移

- 自動ブレーキの総生産台数に占める搭載割合は約6割まで上昇するなど各自動車安全技術の搭載率は順調に増加。
- 国は2020年（平成32年）に自動ブレーキが国内販売新車乗用車の90%以上に搭載されるよう目標に掲げている。

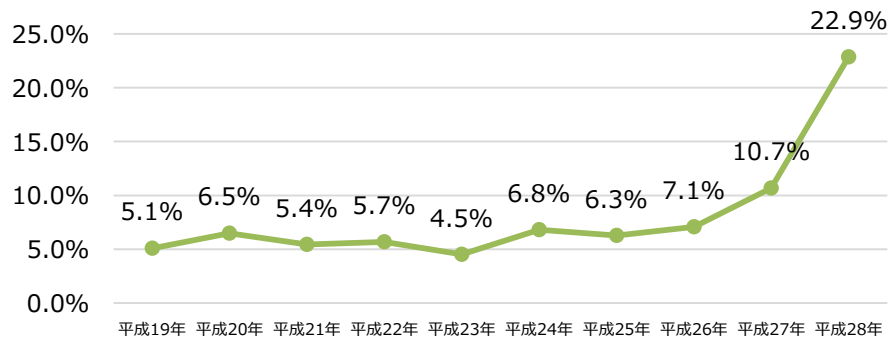
自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）



ペダル踏み間違い時加速抑制装置



先進ライト



車線逸脱警報

